

Kengidan

県議団ニュース しもおく奈歩 News

Vol.2

日本共産党
2023.11
愛知県議団
9月議会報告

★マスコミも注目!



10月5日 議長との懇談を終えて記者に囲まれるしもおく議員

おかしいぞ! 少数会派の質問制限

私たちが選挙で選んだ議員が、4年に1回しか本会議で質問できないのはおかしくないですか?

愛知県議会は、無所属・一人会派議員の本会議質問を4年に1回以内に制限するルールをつくってしまいました。

日本共産党県議団は、全国の都道府県議会を調査して記者発表(9月28日)。

4年に1回しか質問できないのは愛知、埼玉、神奈川の3議会のみでした。47都道府県議会で40議会で、無所属・一人会派の議員でも年1回以上質問していることがわかりました。

8割を超える県は年1回以上 無所属・一人議員の一般質問は

愛知県議会は、**4年に1回だけ?** 県民の声を封じる!!

全国最下位

無所属・一人会派の本会議一般質問等調査
日本共産党愛知県議団調べ
2023年9月28日現在

多い県	年に4回	福井、長野 滋賀、鳥取、島根
	年に2回	和歌山、宮城、富山、石川 山梨、岐阜、山口、愛媛、 高知、宮崎、鹿児島、熊本
	年に1回	北海道、青森、岩手、秋田 茨城、栃木、群馬、千葉 東京、新潟、静岡、三重 大阪、奈良、岡山、広島 徳島、香川、福岡、佐賀 長崎、大分、沖縄
	4年に2-3回	福島、兵庫
少ない県	4年に1回	埼玉、神奈川、愛知

全国調査で愛知県議会の遅れハッキリ

議員一人の質問回数も愛知は少なく、4年の任期中2.7回で下から8番目。無所属議員は1回なのでその半分以下しか質問できません。この格差は愛知がワースト1位です。一般質問の数も愛知県議会は短く、年10日以下から10番目でした。

しもおく議員は、「質問日数を年4日増やして、議員全員が年に1回質問できるように」と提案。調査結果と提案を石井芳樹議長、いなもと和仁副議長、島倉誠議会運営委員長、各党の団長に手渡し、質問制限ルールの見直しを要望しました。

「任期中に質問回数を一人1回と



無所属議員の質問は4年で1回のみ
県議会の質問の割り振り「会派」重視か
それとも「各議員に平等」かの
見出しでテレビ愛知で放映され、
Yahoo!ニュースでも流されました。

するのは議会の自殺行為だ(昇秀樹
名城大教授 8/31毎日)との指摘
もあります。議員の質問を封じるの
は県民の声を封じるものです。
県民の多様な意見を議会に反映す
るために、全国最悪の質問制限は撤
廃すべきです。

なぜ? 授業料は無料なのに

高校授業料の無償化が進んできました。ところが愛知県の県立高校では、エアコン代の保護者負担がまだに続いています。

しもおく議員は、9月議会の教育スポーツ委員会でのこの問題をとりあげました。

県立高校でも普通教室のエアコン代は公費負担ですが、理科室など特別教室のエアコン代はPTA負担が続いています。全日制では3年間で平均3万円近い負担です。ところが隣の岐阜県も三重県も保護者負担はありません。名古屋と豊橋の市立高校も負担ゼロです。

しもおく議員は、「生徒を保護し、自身の健康と快適な学習環境を整備するのは学校設置者の責務です。PTA保護者の負担をなくしてエアコンの設置費用と電気代は県が責任を持つべきではありませんか?」と追及。県当局は、「学校施設の維持管理は県の責務と認識している。保護者負担の総額は年間約8.9億円」と答えました。

保護者負担の速やかな解消をめざすべきです。

エアコン代 保護者負担 (生徒一人あたり)

	全日制	定時制
負担の有無	138校/147校中	18校/28校中
平均(年額)	約9,500円	約1,800円
最大(年額)	25,200円	3,800円
最小(年額)	800円	50円

あたりまえでしょ! 近隣県は保護者負担ゼロ!

県立・市立高校空調設備の公費負担状況 (2023年度)

	普通教室	特別教室	
		愛知県立	近隣県
愛知県立	保護者負担	図書室、コンピューター室は公費負担。その他、理科室などは保護者負担。	
名古屋市立	保護者負担		
岐阜県立	ゼロ	保護者負担ゼロ	
三重県立			

●豊橋市立高校(定時制)も保護者負担はありません。

行ってきました!! 県立高校

しもおく議員は豊橋市内の県立高校を訪問。暑さ指数計の設置状況とエアコン代の負担について調査しました。熱中症対策は各校で様々な工夫と努力がされていました。エアコンでは、かなりバラツキがありました。この調査が議会質問につながりました。

体育館にもエアコン設置を求めました。

年間約11億円でできるとの試算が明らかになりました。

校長先生から暑さ対策などについて話をうかがいました。

日本共産党県議会報告 2023年11月 ご意見・ご要望をお寄せください。

〒460-0007 名古屋市中区新栄3丁目12-25 TEL:052(262)1070 FAX:052(262)1071

http://jcp-aichi-kengi.jp/ 質問や討論の全文はHPに掲載しています 発行:日本共産党愛知県議会議員団



しもおく議員の紹介

7件の 請願に

無所属議員が 名を連ねる

一歩踏み出す共同の運動

請願は、国民が国や自治体に要望を述べる大切な権利です。

愛知県議会ではこれまで共産党だけが紹介議員になることが大半でしたが、9月議会では、しもおく議員が紹介議員となった7つの請願のうち、1つはしもおく県議をふくむ3人が、6つの請願には、しもおく県議をふくむ2人が紹介議員となりました。

紹介議員になったのはいずれも無所属の議員です。定数102の愛知県議会です。孤独な闘いから一歩踏み出すことができました。

私は請願への賛成討論を求めましたが、自民・あいち民主・公明・減税は認めません。反対討論もせず、すべての請願は賛成少数で不採択に。しかし採決でもとに起立した議員に励まされました。共同の力をさらに広げたいです。



しもおく 奈歩



10月19日 本会議での請願採択。3人で起立(左)2人で起立(右)



農家支援に/ 5億円の 補正予算を 計上! 被災者の声に 応える!!



9月議会の補正予算では、6月豪雨で被災した農業者への支援として5億円が計上されました。浸水した農業用機械の修繕や資材購入にかかる経費の4分の1を県が補助します。市町村も同様の制度をつくり、合わせて必要経費の半額を補助する仕組みです。

しもおく議員は、被災農家を訪問し被害の実態を調査し、8月には愛知農民連のみなさんと、水没した農機具の買い換え支援などを要望してきました。

農業者のみなさんの要望が実現し、愛知県独自の支援制度ができました。



豊橋市議団と被災した農家を訪問

認められない 2つの議案 に反対!

9月定例県議会最終日の10月19日、しもおく奈歩議員は「2023年度一般会計補正予算案」と「あいち森と緑づくり税条例一部改正案」について本会議で反対討論を行いました。同議案は共産党以外の賛成多数で可決されました。


しもおく議員は、補正予算のうち「農業者営農支援事業補助金」には賛同すると表明。

そのうえで反対の理由は「文化施設活性化基本計画策定費」が県美術館や県陶磁美術館の民営化を検討するものだからと指摘。「県直営の美術館こそ信頼され、貴重な作品も寄贈されてきた。学芸員が専門性を活かして安定して働き続けることも大切。目先の利益にとらわれず、美術館本来の機能をどう発揮できるか検討すべき」と



10月19日 討論に立つしもおく議員

訴えました。あいち森と緑づくり税は2009年に始まり、森林保全の財源として県民一人当たり年額500円、法人は均等割額の5%を徴収するもの。5年間のはずが3度目の延長提案です。しもおく議員は、「設案タムなど大型開発で森林を破壊しながら、県民には森林保全のために課税する愛知県の森林行政は矛盾に満ちている。所得に関係なく一律に課税するのも問題だ。」と厳しく指摘し反対しました。

3人が紹介議員になった請願	2人が紹介議員になった請願
愛知県に『学校給食無償化補助金』の創設を求める	国に対し、連絡請求書等保存方法(インボイス制度)について延期も含めて慎重に対応することを求める
	『消費税5%引き下げを求める意見書』採択を求める
	『インボイス制度即時廃止を求める意見書』採択を求める
	予防接種健康被害救済制度周知
	『現行の健康保険証の存続を求める意見書』の提出を求める(2団体から提出)

ファミリーシップ制度

愛知県でもファミリーシップ制度*導入に向けた検討が始まりました。しもおく議員は、LGBT当事者の方とも意見交換、「誰も取りこぼされることがないようにしてほしい」との思いを共有。当事者の思いを制度に活かします。

*同性・異性を問わず互いを人生のパートナーと約束した二人または子どもを含む三人以上が自治体に届け出ることで法律上の婚姻に準じた行政サービスを受けられる制度。すでに県内18自治体がパートナーシップまたはファミリーシップ制度を導入。



制度導入を求める方から直接話をうかがいました。

多様な
生き方!

子どもたちに もう一人保育士を!

愛知県議会は6月議会で「保育体制の整備についての意見書」を全会一致で採択、保育士配置基準の早急な改善などを国に要望しました。しもおく議員は、名古屋市内の保育園を訪問。子どもたちが活発にかけまわるなか保護者や園長と懇談、保育士の忙しさを実感。「75年前のままの配置基準の改善は急務。県独自でも保育士の配置を増やしたい」と語ります。



子育て中のママの声にも耳をかたむけます。

保育現場
を訪問

STOPインボイス IN NAGOYA

10月から国民の反対を押しきってインボイス制度が導入されました。しもおく議員はフリーランスの方からも実態をうかがい、導入反対の運動に連帯を表明しました。消費税の引き下げも待たなし。岸田政権の悪政を愛知から変え、県民のくらしを守りましょう。



9月17日、名古屋市内の集会でアピール

反対署名
50万人
突破!